

みやの地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和7年度)

■地域の情報

地域人口	13,305人	自治会数	42
世帯数	6,517世帯	自治会加入率	71.5%

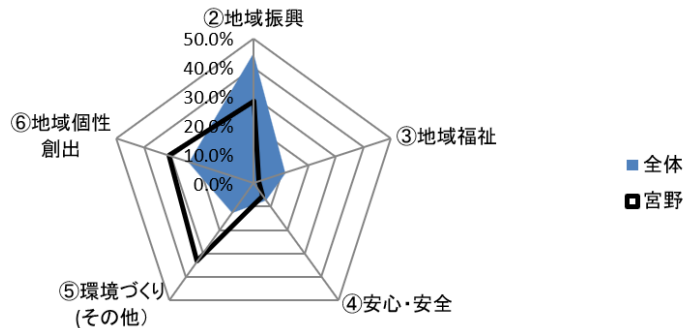
※数値は、令和8年4月1日のもの

■決算状況

交付金配分枠	13,378,000 円
交付金決算額	13,378,000 円
その他収入	1,741,488 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	8,994,254 円
②地域振興	765,214 円
③地域福祉	46,511 円
④安心・安全	147,674 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,445,640 円
⑤環境づくり(その他)	891,934 円
⑥地域個性創出	828,261 円
決算総額	15,119,488 円



■地域づくりの活動方針(テーマ)

地域住民や各種団体と連携・融和を図るとともに、地域課題の解決に向けた活動を活性化し、安心・安全な地域づくりを推進します。

■総括

地域づくり計画に基づき事業を計画しましたが、新たな事業が発生するなどいたしました。部会で実施時期を検討するなど効率的な活動ができ、今後も部会との連携を密にし「地域課題解決」に向け「地域活性化」「円滑な事務局運営」を図ります。

■分野別事業名

①	協議会運営	事務局運営費用(人件費:事務局長1名、事務局員3名、事務費)
②	地域振興	広報活動事業
		未来構想研究事業(県立大学南キャンパス跡地利用・県林業指導センター跡地)
		子ども食農教育事業
③	地域福祉	あいさつ運動事業
		救命講習会開催事業
		世代間交流開催事業
		講座・講演会開催事業
		コミュニティ交通検討・支援事業
		ふれあいスポーツ交流事業
		ニュースポーツ普及事業
④	安心・安全	子どもの安全対策事業
		高齢者の安全対策事業
		反射鏡設置等補助事業
		防犯灯設置等補助事業
		防災対策向上事業

⑤ 環境づくり	土木工事（法定外公共物）
	木戸山公園整備事業
	クリーン作戦啓発事業
	さくらの里づくり維持管理事業
	里山資源利用団体支援事業
	地域と県立大学の交流会支援事業
	着物喫茶支援事業
	まち歩き支援事業
	道路維持活動助成事業
⑥ 地域個性創出	歴史講座開催事業
	歴史・文化・自然写真コンテスト事業
	名所・旧跡等保全活動事業
	ホタルまつり支援事業
	祇園裸坊参加支援事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	未来構想研究事業(県立大学南キャンパス跡地利用・県林業指導センター跡地)	決算額	2,328円
	目的	県有地の跡地利用は宮野に大きな影響を与えることから、県・市との連携を強化し、未来ある宮野を創造するため、有効な跡地利用の検討を進めます。		
	実施内容	県大南キャンパス跡地利用に伴う県・市からの情報を周知しました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	—		
	成果	南キャンパス跡地利用及び林業指導センター跡地整備等について、移動市長室を利用して山口市よりの情報提供及び地元要望を共有しました。		
	評価	現状を周知できました。		
	今後に向けて	県と市との進捗状況に注意を払い、地域対応に努めます。県林業指導センター跡地利用についても県の動向に注意を払います。		
②	事業名	クリーン作戦啓発事業	決算額	3,694円
	目的	小中学校合同地域清掃活動、町内会ごとの一斉清掃、そして不法投棄防止運動を幟旗設置等で啓発普及し、幅広い世代の住民全体で取り組める美化活動を企画・推進します。		
	実施内容	宮野小・中学校の児童・生徒による合同地域清掃をアピールし参加者を募集しました。地域の参加者は少数でしたが、子供たちと合同で地域清掃に汗を流しました。10月を不法投棄防止運動の一環として、常襲地帯への幟旗設置及びパトロールを継続実施します。		
	実施時期	小中学校合同清掃; 11月 不法投棄防止運動及びパトロール; 通年		
	参加人数	—		
	成果	美化推進活動は地域に浸透し、各町内会での活動は活性化しています。		
	評価	住民参加型の地域一斉清掃の企画等により美化意識向上を図る必要があります。		
	今後に向けて	町内会一斉清掃を推進し、環境美化の意識向上を図るとともに、関係機関との連携及び不法投棄防止運動を広報し、不法投棄のないきれいな地域づくりを目指します。		

③	事業名	歴史・文化・自然写真コンテスト事業	決算額	124,211円
	目的	写真を通じて「ふるさと宮野」の良さを再発見し、隠れた地域の名所・旧跡等を発信し、より一層の地域への愛着、“宮野愛”を深めます。		
	実施内容	審査会による賞と展示会を兼ねての投票による賞を設けて、第16回写真コンテストを実施しました。記念アルバム製作に着手しました。		
	実施時期	9月～3月		
	参加人数	(応募人数・応募数)24名・66点		
	成果	写真応募や展示会を通じて、宮野の名所等を再発見し、愛着を深めました。投票は、コンテストや宮野への関心を高めることに貢献しました。		
	評価	応募規格を改正したことにより、応募者・出展数増加につながりました。		
	今後に向けて	広く地域内・外に企画を紹介し、応募数増加を図ります。アルバムの有効利用を検討します。		